愛寿会だより

9 月号
第 183 号
平成 26 年
9 月 10 日発行

愛寿会では毎年「防災訓練」を実施しております。写真は「第二仁生園総合防災訓練」の様子です。

防災の備えを見直しましょう！

九月一日は防災の日、一九二三年のこの日関東大震災がありました。その大惨事を忘れないために、この日が「防災の日」とされています。「首都直下地震」や「南海トラフ地震」の危険性が指摘されています。日頃の備えを大切に…

東日本大震災の爪痕がいまだに残り、最近では、広島県で土砂災害が発生しています。ご家庭での防災について、また施設での対策などについてもあらかじめ考えておきたいと思っています。

高齢者福祉施設等の利用者様は、災害発生時に自力での安全確保や避難が困難な場合が多く、生命に危険が及ぶことが想定されます。このため施設が独自に対策を講じておくことが重要と考えています。

一、施設の安全対策の備えについて

〈一〉施設の立地条件の確認は

① 当施設は、湧水群の中にあり、地盤や地質、地形などを確認し、地域と連携して備えています。

② 「ハザードマップ」などで河川の氾濫、崖崩れなどの危険性を予め把握し確認しておくことが重要と考えています。

〈二〉施設設備の安全確認は

① 当施設では、火災に備え、施設の不燃性について常時確認しています。

② 消火器の使用期限・スプリンクラーなどの消火設備の設置、非常通報装置の点検を行い、常に正常に機能するよう整備しています。

〈三〉施設内外の設備の確認は

① 書棚、ロッカーやテレビ、冷蔵庫などの電化製品は、金具などで壁や床に固定し、転倒防止に努めています。

② 高いところに物を置いたりせず、非常口や避難路を塞ぐような物を置かないよう留意しています。

二、施設内の衛生管理の備えについて

〈一〉施設における衛生管理

① 人の手には、数多くの微生物が付着しています。病原微生物を洗い流すことは食中毒対策に有効とされています。

② 手洗いの時間・回数による効果の確認

③ 日常の手洗いのタイミング

a 嘔吐物を処理したあとで

b トイレを使用したあとで

c 廃棄物などの処理作業をしたあとで

～　迎え火・送り火　～

八月十三日夕方、正面玄関にて利用者様・職員大勢に集まっていただき、「迎え火」を行いました。

今年も代表の利用者様にお経を読んでもらい、お線香を上げお盆さんを迎えました。

各班ではナスとキュウリで牛と馬を作り、大きい物や個性的な形の物様々な精霊馬が出来上がりました。

また、十六日にはあいにくの雨模様でしたが、大勢の利用者様・職員が集まり「送り火」を行いました。

皆様がお線香を上げ、手を合わせ「ご先祖様が無事に帰れますように…」「また来年会えますよう」等様々な想いの中お送りをしました。

～　小荒間地区「鈴みこし」に大喜び！　～

お盆の八月十四日小荒間地区の子供たちが、公民館の夏祭りで「鈴みこし」が仁生園を訪問してくれました。当日は、晴れたり曇ったり時々小雨も降る生憎の空模様でしたが、子供たちの熱気に束の間晴れ、笛や太鼓の「こあらま太鼓隊」のあとにワッショイ、ワッショイと子供たちの元気な掛け声が響き渡り「鈴みこし」の登場です。入所者の皆様は今か今かと待ちわびており、笑顔と一緒に一斉に拍手で迎えました。子供たちの代表から「元気で長生きしてください」とご挨拶をいただき、大きな拍手でこたえていました。

また、子供たちもアンコールにこたえて、ワッショイ、ワッショイと入所者様の目の前まで「鈴みこし」を近づけて盛り上げていただきました。これには一際大きな拍手で、なかなか鳴りやみません。入所者様は、子供が大好きで毎年仁生園を訪問していただく地域の元気な子供たちとのふれあいをとても楽しんでおり有意義なひと時の交流でした。

～　中学・高校　夏休みの体験　～

夏休みに入り、市内の中学・高校生の皆様が実習・職場体験・ボランティアに来てくださいました。

特養、グループホーム、デイサービスとそれぞれの事業所に分かれ、最初は戸惑いながらも利用者様の笑顔に励まされる場面も見られ、学生の皆様にとっても「有意義で貴重な体験になった」とのことでした。

利用者の皆様も若い方々とのふれあいを楽しまれました。

～　小泉保護司会女性部　ボランティア　～

八月二十七日（火）、小泉保護司会女性部六名の方がボランティアに来てくださいました。

普段手の行き届かない玄関・中庭の窓を中心に、皆様汗だくになりながらガラス磨きをしていただき、ピカピカになりました。小泉保護司会女性部の皆様、本当にありがとうございました。

～　仁生園デイサービスセンター　～
『花の里バスハイキング』

仁生園デイサービスセンターでは、八月二十一日～二十三日の三日間に渡り、花の里バスハイキング（富士見高原スキー場）を開催いたしました。

天候にも恵まれ、利用者の皆様と大草原に咲く色とりどりの百日草の優美さと、富士見高原の草原の風を感じることが出来ました。

青空が広がり、素晴らしい景色と空気を感じてきました。

仁生園デイサービスセンターでは、四季折々の行事やレクレーションをご用意し、皆様に楽しんで頂けるように計画しております。是非、ご利用ください。

午後のレクレーションは無理なく体を動かせるゲーム等を取り入れています。

～　グループホーム「やすらぎ」　～

八月六日（水）お天気がよく暑い日、「八ヶ岳中央農業実践大学校」へ避暑ドライブに全員で出かけてきました。

涼しい高原でお弁当を食べ、芝生の上で昼寝をし、高原の夏を感じてきました。

また、小淵沢の「リゾナーレ」に出かけた時には、ドレス姿の花嫁さんを見る幸運に恵まれ、若かりし頃の姿を重ね合わせていました。また、おいしい昼食を食べに「スパティオ小淵沢」に出かけたり、室内では手芸や工作を楽しんだり、今年も「夏」を満喫することができました。

～　第二仁生園　～

山の音楽隊の演奏

八月二十三日、横浜楽友協会「山の音楽隊」の皆さんが昨年に続き二回目の来園で演奏に来てくださいました。大河ドラマ「軍師官兵衛のテーマ」「アナと雪の女王」の曲や、「八木節」「夏の思い出」などの馴染みの曲を聞きました。「アナと雪の女王」は先日ＤＶＤ上映会をしたばかりでしたので、口ずさんで歌っている方もいました。

目の前で演奏されるトランペットの勇壮な音や、フルート・クラリネットの優しい音色の生演奏に自然と体も弾みます。

また、この日は長坂町のキッズクラブひまわりの皆さんも来園し、一緒に楽しいひと時を過ごしました。

避暑ドライブ

八月二十七日、開館十周年記念特別展としてインドのガンダーラ地方の絵画や彫刻品等が展示されている「平山郁夫シルクロード美術館」へ行ってきました。展示室四方一面の岩絵の具で描かれた砂漠のラクダの絵画には利用者様も驚きの歓声でした。

最後の記念撮影では、シルクのストールやターバンで素敵なスナップ写真が出来上がりました。

感謝

平成二十六年八月一日～
平成二十六年八月三十一日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。
今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。
何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。
略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

・北杜市　葛窪滋太　様
・北杜市　小宮山要　様
・千葉県白井市　湯浅四郎　様

ボランティア活動

・レクボランティアほがらかグループ　代表　吉田道子　様
・レクボランティアゆずっこの会　代表　佐野恭子　様
・北杜市　うたなかま八ヶ岳　様
・北杜市　保坂多枝子　様
・北杜市　井上早智子　様
・北杜市　三村明子　様
・北杜市　原田勝子　様
・北杜市　小泉保護司会女性部　様
・北杜市　佐藤英道　様
・横浜楽友協会「山の音楽隊」　様

愛寿会後援会入会者様

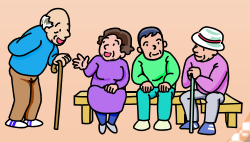
・諏訪郡富士見町　五味正昭　様
・北杜市小淵沢町　山寺園江　様
・北杜市長坂町　堤辰彦　様
・荒川区南千住　佐藤きよ子　様
・三鷹市井の頭　山本美根子　様
・韮崎市藤井町　細田太満美　様
・北杜市長坂町　井出武男　様
・北杜市小淵沢町　藤森百代　様
・北杜市小淵沢町　茅野美江子　様
・北杜市小淵沢町　砂山可乃江　様

千葉県白井市の湯浅様から「梨」長坂町中丸の小宮山様から「リンゴ」をいただきました

湯浅四郎・昌枝様ご夫婦から、白井市特産の梨「豊水」をたくさん送っていただきました。
また、小宮山要様には丹精込めて育てたリンゴ「つがる」をいただきました。
仁生園・第二仁生園の皆様は「おいしい」と大変喜ばれました。
ありがとうございました。

愛寿会 職員募集

愛寿会では介護職員・看護師（正看・准看）を募集しています。友人知人の方で福祉のお仕事をやってみたい方をご紹介ください。
フルタイムで働ける方、ご都合の良い時間帯でのパートタイム等、例えば午前十一時から午後四時までなどと勤務時間のご相談に応じます。
なお、給与、手当等は、愛寿会規程に基づき対応させていただきます。
詳細につきましては、採用担当　小林までお電話いただければ幸いです。
（☎〇五五一―三二―三三四〇）



愛寿会サービスへのご意見・ご要望や施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。
仁生園 電話 ０５５１（３２）３３４０
第二仁生園 電話 ０５５１（３２）８２７０